

2年生学年だよ

令和7年6月10日(火)
島本町立第二中学校
校長 小林 智
2年生 学年教員

自己実現への道しるべ ～答えのない課題と向き合う～

2年生では、4月下旬から『キャリア学習』に取り組んでいる。中学2年生のみんなが、働くことへの意義を見だし、自己実現へ向けて意欲や関心を高めることをねらいとしている。取組のキーワードを挙げるとすれば、「探究」「課題解決」「SDGs」など。

ここでいう“キャリア”とは何を指すのだろうか。文部科学省によると、『人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だし、ていく連なりや積み重ね』が、“キャリア”の意味するところらしい。合わせて、学校における様々な活動を通して、一人ひとりに右欄にある4つの能力の発達や育成、職業人としての自立を目指すこととされている。

◇人間関係形成・社会形成能力
◇自己理解・自己管理能力
◇課題対応能力
◇キャリアプランニング能力

さて、今回の学習過程を確認する。取組のおおまかな流れは以下のとおり。

- ① 事前準備として、担当する企業の概要や事業内容などを調べ、基礎知識を得る。
- ② 下記の日程で企業側と直接顔を合わせ、見学や打合せを通して講義をしていただく。その際、企業側から課題(企業が持続的に成長するためのミッション)を受け取る。 ←今ココ

- 1組:小野薬品工業株式会社 ⇒7/4(金)
2組:グルメシティ 水無瀬店 ⇒6/13(金)
3組:TOPPAN コミュニケーションプロダクツ株式会社 ⇒6/5(木) 済
4組:積水化学工業株式会社 ⇒6/27(金)



- ③ 与えられた課題に対して解決策を考える。(夏休み含む)
- ④ 二学期、考えた解決策(解決方法)を企業に提案(プレゼン)するための準備をすすめる。
- ⑤ クラス内で各班のプレゼンテーションを実施し、代表班を決定する。
- ⑥ 各クラスの代表班による全体プレゼンテーションを実施する。(各企業の方の見学・講評あり)
- ⑦ まとめ(ふり返し)・お礼状など

ここで期待されるのは、みんなの若い脳から溢れ出る柔軟な発想や創意工夫、そして、アツと驚く着眼点だ。社会や企業の発展には、“若い力”は欠かせない。AIは有能な存在だが、人間にしかできないことは、必ずある。未来を「想像する」ことから、未来を「創造する」ことにチャレンジしてみよう。

世の中には、模範解答がなかったり、正解が一つでなかったりすることは、よくある。限られた条件や現状の課題を整理することで、「自分なりの答え」が見えてくるかもしれない。実は、普段から学習しているそれぞれの教科や取組には、そういった力を育むヒントが隠れている。日々の学習(授業や行事、委員会、部活動など)の中で、目標設定・問題提起(課題発見)・課題解決などを積み重ねることが、いわゆる「生きる力」を磨くことにつながっている。

日頃から様々な学びに興味・関心を持ち、主体的に取り組むこと(学びに向かう力)は、やはり自らを大きく成長させるのだと気づかされる。



6月23日、恒久平和を祈念して…

私たちが、平和を語る上で忘れてはならない日が、4つあると言われている。8月6日(広島に原爆投下)、8月9日(長崎に原爆投下)、8月15日(終戦の日)。そして、もうひとつが、6月23日である…。

「沖縄」と聞くと、青い空に澄んだ海、ハイビスカスやサトウキビ畑など、今は南国の“リゾート地”としてのイメージを抱く人が多い。しかし、「ヒロシマ」や「ナガサキ」だけでなく、「オキナワ」にも心を痛める悲しい過去があったことを忘れてはならない。青空の下に広がる沖縄の地、その下にはまだ多くの遺骨が眠ったままに…。



1941(昭和16)年12月、日本軍のハワイ真珠湾攻撃により大東亜戦争(太平洋戦争)が開戦。太平洋上に浮かぶ島々をめぐる日米が激しい攻防を繰り返す中、1945年4月、アメリカを中心とする連合軍は、沖縄本島に上陸。沖縄は、民間人を巻き込む唯一の地上戦が行われる激戦の地となっていく。

戦力の差は明らか。沖縄守備軍が全滅することは時間の問題であったが、沖縄は本土防衛のための“捨て石”とされ、軍に役立つものは根こそぎ動員された。軍人だけでなく、民間人にも捕虜になることが許されず、最後まで戦って死ねと命じられた。国家のために命を捧げることが当然、という思想が叩き込まれた時代である。みんなと同じ十代半ばの若者も戦場に駆り出され、一般住民を巻き込んだ20万以上の尊い命と財産、自然が奪われた。実に、沖縄県民の4人に1人が命を落としたことになる。

戦況が悪化し、南部へ追い詰められた沖縄守備軍を率いる司令官牛島満が系満の摩文仁で自決し、沖縄での組織的な抵抗が終わったとされるのが、6月23日である。



『命どう宝』…命こそ宝であるという、今でも沖縄で語り継がれる言葉である。系満市摩文仁の丘にある記念碑「平和の礎」には、国籍や軍民の区別なく、沖縄戦で亡くなった人々の名が刻まれている。

ウラへ続く

先月、この一年で新たに342人が追加刻銘されたことが発表され、その総数は24万2567人を数える。今月1日からは、全刻銘者の読み上げが始まっており、毎年、この6月23日は「慰霊の日」として摩文仁の平和記念公園において、「沖縄戦没者追悼式」が行われている。恒久平和を願う国民にとって、特に沖縄県民にとっては決して忘れることのできない“特別な日”である。

終戦してもなお、27年間、アメリカの統治下に置かれた沖縄。当時の人々には、耐えがたい苦難もあったのだらうと察する。本土で暮らす私たちには、身近に感じられないことかもしれないが、在日米軍基地、進まぬ遺骨収集作業など、沖縄には今なお様々な問題が残ったままであり、「沖縄の戦後」は、まだ続いている…。



今年は、終戦から80年(昭和100年)の節目の年である。地下に埋まった骨も、土にしみ込んだ血も目には見えないが、足元の歴史を知ることで私たちは未来を描くことができる。今生きている人の声だけを聞き、今日と明日のことのみを考えると、国も人も判断を誤ることがある。私たちには、常に過去を顧みながら進むことが求められる。

日々の平和な暮らしについて考えると同時に、惨禍の歴史を学ぶことが、沖縄を考える機会、沖縄に関心をもつ機会、さらには、未来の平和を築く礎になってくれればと願う。

【一学期 期末テスト範囲】

悔いを残さず、やりきる覚悟！

日	教科	出題範囲	提出物	学習のポイント
6/18 (水)	国語	○漢字学習 P14～P23 ○古典『枕草子』 ○古典「文学史」 ○評論『クマゼミ増加の原因を探る』 ○韻文『短歌に親しむ』 ○授業プリント ○実力問題(文法、古典を含む)	なし	□教科書の文章は音読し直し、重要事項を再確認しておきましょう。 □知識分野に関しては繰り返し読み書きして定着させておきましょう。
	理科	○教科書 P168～P204 ○ワーク P76～P93	・授業ファイル ・完全学習ノート (授業中に提出した人は提出不要)	□化学反応式を正しく書けるよう確認しておきましょう。 □計算問題は繰り返し練習しましょう。

6/19 (木)	英語	○教科書 P22～P35 ○Joyful Workbook P16～P25 ○語順トレーニング P8～P12 ○English Worksheet No.14、No.16～24	Joyful Workbook P16～P25 丸つけをしてテスト当日に提出。英語係が出席番号順に並べて、学年職員室に持ってくる	□単語や本文を暗記しておきましょう。 □ワークや授業プリントの問題を繰り返し解いておきましょう。
	保健 体育 (25分)	○体育まとめプリント(新体力テスト・陸上競技・マツ運動) ○教科書 P72～P83 ○保健対策プリント (No.1～No.3)	なし	□プリントや教科書を読み返しておきましょう。
6/20 (金)	社会	歴史 ○教科書 P118～141 ○読み解き歴史 P80～P101 ○プリント 歴史 No.39～48 ※授業で配布したワークシート等も範囲に入ります。 ○2年の学習ノート P7～P14(11～14は、まとめ問題です)(ワークP12～25を参照)	なし	□教科書やプリントを見直しておきましょう。 □問題集の問題を何度も解き直しておきましょう。 □わからない問題をわからないままにしないで、解けるようにしておきましょう。
	数学	○教科書 P36～P59 ○問題集 P26～P49 ○授業プリント ○実力問題(1年生の復習問題、連立方程式)	なし	□連立方程式の解き方を確認し、たくさん問題をときましょう。
	美術 (25分)	○シュルレアリスム ○空想の世界へ ○一点透視図法 立体空間 ※テストで色鉛筆(5色程度)、定規が必要です	なし	□プリント、教科書を見直しておきましょう。